

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会
埼玉岳連報 66号

発行者 石倉 昭一

発行所 協会事務所 天野 賢一方
〒333-0823 川口市石神 179-40

発行人 広報委員会 岩井田 正昭

埼玉岳連



熱き戦いを終えて

前列左から石倉会長、鈴木、横内各監督、宇津木監督、小茂田支援スタッフ、加島、野部各選手、神田トレーナー、天野総監督、後列左から鈴木支援スタッフ、本多トレーナー、本間、坂井、波田各選手、内海監督、百花草、曾我、鶴各選手、森下顧問、加藤副会長、土屋副理事長、塩谷事務局のみなさん

「ONE TEAM SAITAMA」

2019 茨城国体 総監督 天野 賢一

今年7月の国体予選・関東ブロック大会で、3種別(少年男子・女子、成年女子)すべてが本国体への出場権を獲得し(成年男子は予選無し)、天皇杯奪還へ向けて全種別出場という万全の態勢で「いきいき茨城ゆめ国体2019」へ乗り込んだ埼玉県選手団でした。しかし、出足から成年男子・女子の双方がボルダリング予選で決勝進出を逃すまさかの展開。今回このショックから立ち直り、さらに窮地を挽回する活躍を見せてくれたのが少年男子・女子でした。両種別、リード・ボルダリングともに決勝進出を決めてくれ、粘り強い登りで上位入賞を果たしてくれました。

特に少年男子ボルダリング2位の健闘が光ります。リードに関しては成年男子・女子ともに安定した力を見せ決勝進出。成年男子は貫禄の2位と力をみせました。終わってみれば昨年同様、僅差の総合2位という結果でしたが、ここまで追いつけるとは思っていなかっただけに、まさにラグビーW杯で日本代表が大躍進した「ONE TEAM」の精神で、選手・監督、トレーナー、支援スタッフ、関係者が一丸となって健闘してくれた姿に胸が熱くなりました。

今回は突然の暴風雨やルール改正(順位点の掛け算加点、リードの左右ルート別順位付与等)で若干の混乱や戸惑いもありましたが、みんながそれを乗り越えてくれました。この国体に携わっていただいたすべての方々と応援・ご支援いただいた皆様に総監督として心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



10/20 登攀講習会 東吾野 平戸の岩場

III 【遭難対策委員会】

9/29 第3回レスキュー研究会

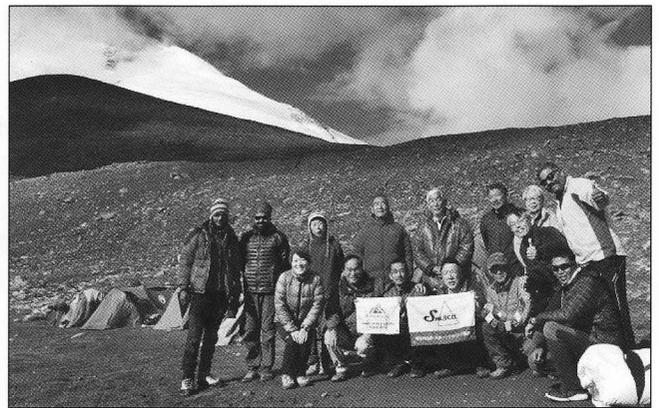
東吾野で第3回レスキュー研究会開催。参加者28名の盛況の中で行われた。自主的な研究会とはいえ、初級以上のスキルがないと参加できない条件があるが、アルパインクライミングに必要なレスキューに多くの協会の関心が集まり今回の盛況となった。アルパインを目指す協会員が回ごとに増え研究会への登録者現在35名。毎回課題を変えてレスキュー方法を解析する、今回はペアーで登攀中にトップが墜落し空中で停止、残された者がどのように救出するか、それぞれの班で救出までをシミュレーションするもの。4班の班ごとに異なった方法が出されるが全員で検討し最良の救出策を求めた。

講師：遭難講師・瀬藤委員長(GDA)、松本(無名)
 参加者：①飯田(UD)、託摩(エー)、岩田(岳稜)、井上(MAC)、市村(OAC)、大野(埼玉)、園田(個人)、②岩武(UD)、吉松(OAC)、平野(岳稜)、三宅(KSC)、三好(個人)、沼田(草加)、鈴木百(無名)、③山口(UD)、鈴木一(GDA)、斎藤(岳稜)、道浦(KSC)、大河原(個人)、轟(JAC 埼玉)、④森松(UD)、本間(OAC)、坂上(山旅)、金澤(無名)、野島(エー)、岩井田(同人)計28名
 広報委 岩井田



レスキュー方法について検討

IV 【海外登山委員会】



「カン・ヤツェを背景に登山隊全員」

参加者：山際 登志夫, 風間 進, 塩谷 壽子, 小茂田 利孝, 掛川 統之, 落合 さとみ, 大河原 裕雄, 清水 和子, 山田 昭彦, 池ヶ谷 潔, 杉野 芳雄 11名

インド ヤン・カンツェ海外登山隊 報告

総隊長 山際 登志夫

登山隊は全日程を終え、8/20夜、成田に帰国いたしました。トレッキング初日、2日目は天気恵まれて、道中楽しむことができましたが、3日目から曇りがちとなり、4日目にはひょう・あられにみまわれ、BC(5050m)に到着する頃には雨となりました。アタック当日は曇りでしたが、徐々に天気が崩れ、出発後すぐに雨、まさかの雨に装備が追いつかない隊員もあり5350mでアタック隊の5人が下山、杉野・大河原隊員とガイドは5600m付近まで頑張りましたが、雨は雪に変わり深いガスの中、ついに登頂を諦め下山となりました。ほとんど雨が降らない砂漠地帯ということでしたが、ここ1~2年、地球温暖化の影響か？砂漠に雨が降るようになり、皮肉な話ですが緑が急に増えだしたとのこと。また、当初設定したハイキャンプ(5600m)が今年から幕営禁止となり使えないという誤算も重なり、BCから頂上までハイキャンプを飛ばして、1200mを一気に登ることの困難さも併せれば、登頂断念もやむなしでした。

天候悪化はその後も続き、年に1~2回しか欠航のないレーからデリーに帰る飛行機も2日間欠航となり、デリー観光も組めずにタイムリミットギリギリで帰国いたしました。しかしながら、国内での十分な高度順応訓練ができたことで、隊員全員が重篤な高山病にかからず元気に帰国できたことと、トレッキングがなかなか楽しかったことが、なによりの土産となりました。

ご支援いただきました海外登山委員会のメンバーはじめ県山協の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。文責 行動隊長 風間 進

V【自然保護委員会】

2019年度クリーン登山報告

自然保護委員長 増田 修

2019年度クリーン登山は5/15より6/30日間、SMSCA傘下16団体、参加者数204名14山域で実施。昨年の実施結果より歩行時間、山域選びは各山岳会に任意にお願い致しました。清掃登山からクリーン登山と名称を変え、どの山域にもゴミは減少、あまり見られなくなりましたが、今回の報告にも有りますように暦年ゴミ山林業等での投棄、埋設ゴミが特に目立つ様です。また林道をからの粗大ゴミ投棄などの報告が有ります。また、各私鉄によるハイカー誘致による登山者数増加に伴い、ゴミ捨てのマナーの向上が望まれます。

記

実施日	山岳会名	実施山域	参加	備考
5/25	壁稜山岳会	キャンプ場…城峯山…天狗岩…城峯神社	7名	不燃,可燃ゴミ若干
6/1	エコ山の会	A武蔵横手…釜戸山…天覚山…東吾野	24名	可燃ゴミ5k, P ^o 3本
		B東吾野…天覚山…東吾野	21名	P ^o トル10本
6/2	個人会員委員会	赤岩峠…大ナゲシ間 (岩稜登攀)	7名	ゴミ無し
6/2	川口市 登山同好会	A飯能…天覧山…多峯主山…ほほえみの丘 …高麗駅 B高麗…多峯主山…天覧山…ほ ほえみの丘…高麗駅	27名	ゴミ無し
6/2	遠峰山岳会	名郷…妻坂峠…大持山…鳥首峠…名郷	3名	
6/2	川口市山岳連盟/ UD・A・C	芦ヶ久保…県民の森…丸山…大野峠…赤谷 …芦ヶ久保 道の駅	16名	缶70、瓶20、P ^o ラ系 紙布5k、P ^o トル30
6/2	東部登高会	正丸駅…五輪山…伊豆ヶ岳…高畑山…天目 指峠…子の権現…吾野駅	14名	缶0.1k、瓶1.8kg 可燃0.6kg、P ^o トル2本
6/2	大宮山岳会	小川町橋場…大霧山登山口…大霧山頂…旧 定峰峠…定峰茶屋…白石車庫	7名	缶32ヶ、瓶10本 可燃3kg、P ^o トル18
6/2	大宮アルパイン クラブ	正丸駅…伊豆ヶ岳…正丸峠…正丸駅	28名	缶鉄クス ^o 類600g、瓶ガ ^o ス類4.3k、可燃 1.6kg
6/5		飯能アル ^o ス 子の権現…大高山	3名	缶鉄クス ^o 100g、可燃 0.3kg
6/9	大宮岳稜会	竹沢駅…天王池…官ノ倉山…石尊山…北向 不動…小川町役場…小川駅	13名	缶10ヶ、瓶10本
6/9	桜草山の会	黒山…黒山三滝…傘杉峠…顔振峠…吾野駅	4名	缶2ヶ、他5ヶ、可燃ゴミ 0.4k、
6/16	あゆむ山の会	越生駅…無名戦士の墓…西山高取…大高取 山…自然休養村…越生駅	14名	缶14ヶ、瓶3本 可燃2kg、P ^o トル16本他
6/16	毛呂山山岳会	鎌北湖周辺及び上部林道、大谷木川遊歩道 周辺	8名	缶60ヶ、瓶3本 可燃6kg、P ^o トル8本
6/18	山岳同人 埼玉	高麗駅…日和田山…物見山…北向地藏… ユガテ…橋本山…林道…東吾野	1名	ゴミ無し
6/22	TEAM やまあるき	武蔵横手…五常の滝…物見山…高指山… 日和田山…高麗駅	7名	缶2ヶ、可燃1kg

※ 編集上一部記載を修正してます。 広報委

VI【ジュニア委員会】

10/4-6 関東大会 上州武尊山 尾瀬アヤマ平
 参加校 男子：熊谷高校・児玉白楊高校・
 狭山工業高校・所沢高校・
 伊奈学園総合高校・久喜工業高校
 女子：久喜高校・正智深谷高校

8/23-10/28 地区新人大会

8/23 南部地区 荒川支流橋立川本谷沢中止
 9/22 東部地区 加須市民体育館(クライミング大会)
 9/29-30 北部地区 谷川(群馬県みなかみ町)
 定着による往復登山
 ※下記報告を参照。
 10/27-28 西部地区 丸山・大野峠・虚空蔵峠・
 旧正丸峠周辺(横瀬町・飯能市) 縦走登山(メインバック行動)

投稿 第63回関東高等学校登山大会を終えて

総監督 伊奈学園総合高等学校 伊藤 良

10月4日から3日間、群馬県みなかみ町・片品村において関東高等学校登山大会が開催されました。インターハイ(高校総体)が競技登山である一方、この関東大会は交流を主たる目的として実施されています。大会開催中には出場校の交流会が催され、県を越えた交流が深められています。埼玉県からは5月に開催された学校総合体育大会(雲取山周辺)の予選を通過した8校が参加しました。A隊の熊谷・所沢は沖武尊を、B隊の久喜工業・正智深谷・久喜は玉原越・鹿俣山を、C隊の伊奈学園・児玉白楊・狭山工業は尾瀬アヤマ平をそれぞれ目指しました。大会開催数日前に来襲した台風により開催自体が危ぶまれましたが、開催期間の行動中は雨に降られることなく群馬の名峰を楽しむことができました。生徒は関東大会参加を通して、他県の優れた登山活動を学び、取り入れることができる良い機会となりました。



関東登山大会 開会式

VII【個人会員委員会】

10/6 秩父・中津川「大若沢」講習山行

参加者：CL 風間 進、SL 笠原 数浩、SL 秋庭 栄、
 秋元 淑子、佐藤 学、山本 周、小沢 賢市、横田 富男、
 大河原 裕雄、大淵 紀子、掛川 統之、河地 尚志



難所 へつりに挑む

投稿 「大若沢」沢登り講習会に参加して

個人会員 山本 周

私は溪流釣りをやっており、登攀要素の強い奥秩父の沢も数多く行っていたのでビレイなどを活用して安全に遡行する方法をもっと学びたいという思いから本講習会に参加しました。

今回ベテランリーダーの方々とは同行して、山行にあたってのリスクマネジメント、パーティーの力量を考えたコース取りは短い時間であっても大いに勉強になりました。またロープの結び方など、わからないことがあれば懇切丁寧に指導して頂きました。経験豊富なリーダーの方々から実際の現場で指導を受けられたことはとても貴重な経験で今後の糧にしていきたいと思えます。

また沢登りは気象、水量によって状況が大きく異なり、状況に応じた判断が非常に重要です。個人の独断に頼らず、要所ではメンバー同士がきちんと話し合える空気作りも安全に遡行する上で重要な要素であることを実感しました。

本講習会でも難所に差し掛かった際には各班のメンバー同士が話し合い、慎重にルートを検討していました。メンバーの中に一人でも危険、怖いと感じる人間がいればその意見を汲み取り、別のルートを模索していくことも大切なリスクマネジメントの一環であることに気付かされました。

ビレイ等のテクニックだけに限らず、安全管理などベテランの方々とは行動を共にすることで自分の足りない部分を再確認できたことは今後の山行に大いに役立つと確信しています。最後に講習会でお世話になりました埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

投稿 アイガー(ミッテルレギ東山稜)登攀

グループ・ド・アミ 秋庭 栄



朝日を背に登りの中間地点に行く

期日 2019年8月22日(木)~23(金)

山城 アイガー(ミッテルレギ東山稜)
スイス・グリンデルワルド地方

「**EIGER**」この **COOL** な響きに魅せられ「アイガーに登りたい！」そう思いついたのは去年の7月頃。そしてこの夏、思いが実現しました。

8月22日(木)

15:20 ガイド、ロレンツと合流し、アイスミニア駅のクライマー専用の素掘りのような階段から雪面へ下ります。ここから取付き点まで移動し稜線めざし上へ上へ。息を切らし右右とトラバース気味に高度を上げて 17:30 ミッテルレギヒュッテ(3354m)に到着。ヒュッテに着き、ハーネス、ヘルメット、ピッケルなど外し室内へ。今夜寝るベッドをおしえてもらい、ガイド達4人とテーブルに着き歓談しながら夕食を摂りました。食後、持て余したのでテラスへ。20:30 を過ぎても陽が落ちません。斜陽がミッテルレギの北面やシュトックホルンをスカーレットに染めています。地平線に太陽が沈むころ、ベッドにもぐりこみました。

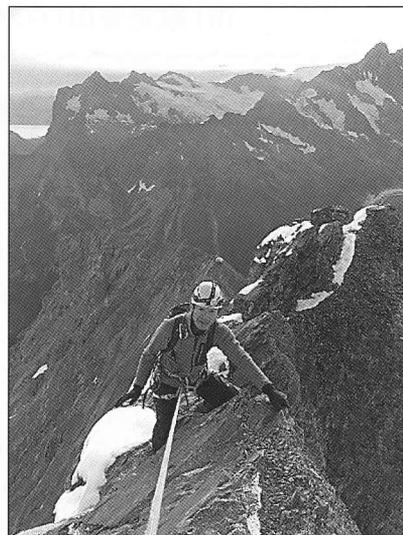


霧が懸るミッテルレギ東山稜

8月23日(金)

“Lorenz Check my harness please”

“Perfect! Let's Go!” 気温2度。無風で暖かい。4:50 ミッテルレギヒュッテのテラスから未だ暗闇の稜線へ、ヘッドランプの灯りを頼りに一步を踏み出します。次第に明るくなるにつれミッテルレギの全容が見えてきました。そこはナイフリッジと岩峰の連続でした。それとあまりにも急峻すぎる高度感に気を失うような恐怖感です。6:30 大ジヤンダルムに取付きます。ピラミッドのような三角錐の右辺に白くて太いフィックスロープが張ってあり登り4時間、下り4時間の行程、その後もナイフリッジと岩峰の登り返しの連続にもはや恐怖心に怯えている暇などなく、登攀が続きます。そして9:10 アイガーサミット(3970m)に到着。先行の2パーティとともに *Congratulations* とお互いのアイガー登攀の成功を祝福しました。



ナイフリッジ上、後ろはヴェッターホルン

9:20 下山開始。急峻な下降場所には鉄ポールの支点があり、ロレンツの「*Lay Back*」の掛け声で懸垂下降を開始します。次の岩峰を乗り越えると、また次の岩峰の懸垂下降と高度をどんどん下げていきます。11:10 最後の二つの大きな岩峰を超え平らな雪稜へ到着。ここからロープを最大30mに伸ばしてロレンツ先頭でリッジからメンヒの北側の雪原への降下をはじめます。やがて傾斜は無くなり、メンヒヨッホヒュッテへ向かうトレースを快適に歩きます。13:50 メンヒヨッホヒュッテに到着してアンザイレンを解き、アイガー登攀は無事終了となりました。最後に、今回アイガーに登攀できたのは、恐怖感を克服出来たこと、体調がGOODだったこと、お天気が味方してくれたことです。そして県山協・海外登山委員会の訓練やトレーニングに同行参加させていただくなど県岳連のスタッフの方々の温かいご支援をいただけたおかげでした。本当にありがとうございました。

投稿

劔岳夏山合宿報告

8/16-8/19 UD・A・C CL:山口 新二

昨年の夏山合宿は槍穂高、今年は劔岳と北アルプスの人気は高い。劔岳は2,999mと3kmは欠けるものの正に貫禄の3kmの岩と雪の殿堂アルピニズムの山・日本三大雪渓・氷河が存在する山岳だ。今回は北アルプス三大急登の早月尾根から登頂する。

台風10号が北陸沖日本海を東北東に進む中、行田市の拠点に集結した8名は降雨の高速で北陸へ向かう。8月17・18日は台風が北海道へ去り、ゆるい高気圧帯で全国的には概ね晴れに恵まれた。

登山第一日 8/17 5時30分発

馬場島登山口「試練と憧れ」の記念碑を出発、急な尾根を巨木が続く松尾平や池に咲く高山食物に励まされながら丸山に着く。早月小屋が見えバテバテながら本日の目的地に着いた12時20分着。丸山でハーネスの装着・ロープの結束等の確認をして一日の締めとした。

登山第二日 8/18 5時発

昨日より天候はさらに良く晴れた。雲海の上に大日稜線がくっきり見え、振り返ると劔岳山頂も早月の延長線に聳える。岳樺帯の尾根を登り2,614m Pを巻いて登攀具を装着、ここからは岩稜帯で烏帽子岩・獅子頭の鎖場が連続、カニのハサミを慎重に通過して前劔からのルートと合流すると神社のある山頂だ。青空の中3km級の峰々を見渡し、360度の展望を楽しんだ後下山開始、馬場島に無事到着できた。

後記 台風10号をかわし8月17・18日と天候は概ね晴れ、いつもこうは行かない。人間は自然に無力で謙虚でなければならない。天候と自然に素直に向き合い安全登山に心掛けて行きたい。



劔岳 全員登頂!

参加者 :CL 山口 新二・SL森松 恵一郎・加藤 實・武石 昌之・尾久土 樹理・細谷 亜希子・山名 桃代・井上 一義(統括/相談役)

【事務局便り】

訃報のお知らせ

元「山岳同人埼玉」代表 柳下 明男氏
令和元年6月16日にご逝去されました。
生前の御功績と御尽力に感謝し、深く哀悼の意を捧げます。

埼玉県・山岳スポーツクライミング協会

初代・山岳同人 埼玉は創立昭和56年(1981)に埼玉岳連:元会長・大沢 亮一、元理事長・野井 篤、元事務局長・尾崎 正義等(発足時25名)が「山を愛し山に親しむ会」として結成、海外の山にも足を記し、平成30年6月に柳下代表のご家族から療養中のため今後の運営が困難の為、退会するとお知らせがあった。(広報誌61号に既報)

翌令和元年4月に当時同会員の 大野 文雄(現・アルコクライミング道場主宰)が代表となり創立時の会名を継いで単会加入し、現在に至る。

現会員数11名 所在地 飯能市虎秀44-2 大野方。

文責 岩井田

世界で大活躍「埼玉・クライマー」

IFSC 世界ユース選手権 アルコ 2019

2019/8/22~8/31

リード :男子ユース A 百合草 碧皇選手 4位

:女子ユース B 小池 はな選手 2位

ボルダー:男子ユース A 百合草 碧皇選手 優勝

8/31 最終日・クライミング世界ユース選手権、男子ユース A ボルダーで、百合草選手は予選 2位、準決勝 4位であったが、決勝で出場選手の内、ただ一人 4 完登し百合草 碧皇選手が優勝。ボルダー・女子ユース B は小池はな選手が僅差で準優勝となった。両選手の活躍に期待します。 広報委

「編集後書」

今号は4件、それぞれの報告を紙面に飾ることが出来た。関東登山大会の総監督を務め無事成功に導いた先生と支援の皆さん、個人会員実技講習会で遡行技術習得の「大若沢」遡行、果敢に挑戦し完登した「アイガー・ミッテルレギ東山稜」、大勢の仲間とトレーニングを重ねて成し遂げた「劔岳全員登頂」。キーワードは「安全登山」をめざして。

スタッフ参加を予定したトレラン大会が台風の影響で全面開催中止となった。実行委員会の苦渋の決断として、選手ファーストを考慮したもの。

実際に登山道、林道が風倒木、土砂の障害があり適切な対応に安堵した。「安全第一」です。

広報委 m.i

ALP K2®



自 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。
医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、
特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

季 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。
血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳・スポーツクライミング協会の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO-600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社
113-0033 東京都文京区本郷3-16-3
TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177
Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております